

平成 28 年 12 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 2 月の業種別景況の前月比 DI 値は、14 業種の中で 3 業種が好転、前月同等が 10 業種、悪化が 1 業種で、全体の景況感も前月比で若干好転している。

一般機器で受注の好転が見られ、輸送機器では堅調な生産がなされているほか、サービス業で売上の増加の報告があるが、依然として人員・人材不足も続いている。

また、プレミアム商品券の効果は小売業や商店街によって様々である。

年末の一時的に多忙な業種も見られるが、先行きについては注視していく必要がある。

山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 12 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：26.3% DI 値：▲20.0% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 17.5% 減少：31.3% DI 値：▲13.8% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 7.5% 悪化：23.8% DI 値：▲16.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 28 年 12 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲66.7	11.1	50.0	▲24.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
0.0	▲33.3	▲50.0	▲9.1	▲10.0	▲14.3	0.0	▲17.0
							

全体
▲20.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	クリスマスケーキの売行きは低調。コンビニのパワーに押され気味であった。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	引き続き雇用が厳しい。	パン・菓子製造業 下関市
	売上高は対前年同月比▲15%の大幅ダウン。大河ドラマ効果の反動による減少が依然と続いている。1月以降は平成27年大河ドラマの効果が無くなると予測しているが、平成28年並みとなることを期待している。道の駅/田万川のリニューアル、道の駅/長門仙崎のオープンなど平成29年は競合する道の駅が増え厳しくなる。明治維新150年のJR西日本デスティネーションキャンペーンで新メニューを採用、定期イベントのリニューアル、新たな魚種のブランド化など積極的な企画提案を実践に移す一年となりそう。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが鈍く、景気が良いのか悪いのか読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	12月も季節外れの長雨が続く作物への影響が懸念されている。地球温暖化に伴う異常気象のせいか、北海道で90年ぶりの大雪になるなど企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、収入保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。	精穀・製粉業
	繊維工業	主力販売取引先の受注増により来年4月末までの受注量がある。1月キャンペーンに伴う備蓄生産で仕事量は許容範囲だが、5月以降はこのキャンペーンの結果次第で流動的である。外国人技能実習生受入は、現在、中国人20名、ベトナム人37名の計57名である。地元求人雑誌掲載を継続しており、問合せが数件あったが採用には至らなかった。
晴れ着が売れず、特に紳士服が売れない状況である。物は購入せず、貯蓄をしている模様で、店頭販売が不振である。		外衣・シャツ製造業 山口市
11月の業況はあまり良くなかったが、12月の受注は回復してきている。		外衣・シャツ製造業 下関市
業界全体的の動きが良くなり受注状況が回復してきた。厳しい状況が続いていたが年明けからは28年以上の増産の予定で、5月頃迄継続しそうである。		外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	売上高、設備操業度が11月同様に微増している。	製材業・木製品製造業

印刷	各社とも例年並みの受注量は確保できたようだが、年末年始の折込むチラシの締日が早くなっているため、各社対応に苦慮している。	印刷 下関市
	経験のある営業が1人増えたため、売上は昨年末と同等額をкаろうじて維持できた。	印刷 山口市
窯業・土石製品	12月の出荷量は、 (平成27年12月) 骨材116%、路盤材124%、再生材75% ↓ (平成28年12月) 骨材68%、路盤材79%、再生材97% 昨年に比べて一気に出荷数量が減っている。来年まで続くと思われる。雇員人数が1名増。	砕石製造業
	出荷量は、前月比100%、前年同月比92%。4月～11月までの出荷量は、前年同期89%。現時点、セメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格も安定している。	生コンクリート製造業
	平成28年はうるう年で、受注・販売ともに大変厳しかった。受注数量が僅かであるため、来年納入の仕事(設置)を平成28年内にやりかけている業者もあるとの事である。	石工品製造業
	萩市内は、12月に入りツアーや個人観光客もまばらになり、更に悪天候や気温低下による山陰への道路凍結(毎年あることですが)などの影響もあり、先月と比べてかなり落ち込んでおり、昨年同月比でも減少傾向である。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの12月の売上は、先月と比較してほぼ横ばいといったところ。オープンからちょうど一年が経ったので今後は昨年との比較もしていきたい。アンテナショップの一年間の売上は、目標から大きく下回る結果となっている。関東方面の百貨店や陶器店からの受注に関しても、12月に入ってもなお昨年と比較して動きが鈍く減少傾向にある。	陶磁器・同関連 製品製造業
	組合員間の景気の温度差は良い方向に縮小してきていると感じている。金型関係は平成29年3月頃までは順調な模様。海外工事関係の受注も好転してきている。組合全体も、景気はプラス傾向の印象である。	一般機械器具製造業 防府市
機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況は安定している。惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、組合としては36協定の遵守を指導している。但し自動車関係は新年から厳しいとの情報がある。食品加工、食肉加工業、溶接関係、惣菜等は、引き続き人材の確保が困難で、外国人技能実習生受入の増員や新規受入の相談があった。特に惣菜関係	一般機械器具製造業 宇部市	

	<p>の人手不足は深刻である。国の制度改正が公布されたことにより、新制度による受入期間の延長、増員について協議を進めている。なお、介護の受け入れについても、介護施設、送り出し機関と協議を進めている。大きな需要になる可能性あり。</p>	
	<p>前月通りで推移。</p>	
	<p>平成28年12月末現在で平成29年3月までの仕事は何とか確保できており、12月の設備操業度も上昇し残業で対応をしている。見積案件もあり何とか受注し、来期に結び付けたいところである。平成28年は成形機との同時受注が多く、金型単体ではリピート金型も多く受注でき、来期も期待している。成形製品の生産設備稼働率、受注状況ともに前年同時期よりは増加傾向にあるが、民生部品（家電部品、電子部品）など製品毎の受注量の変動が大きく先が読みにくい状況が続いている。</p>	<p>特殊産業用機械製造業</p>
<p>輸送機器</p>	<p>鉄道車両部門は長期計画に沿って順調な生産高を維持しており、平成30年までは高水準が見込めるが、消化するための対策が課題となる見通しである。精密加工部門は年明けから生産高に陰りが出てくると予想されている。好調が続きすぎたきらいがある。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
<p>卸売業</p>	<p>海苔の入札が始まり、対前年同月比で4.7%売上が増加。“お節”等の年末商品の増加で全体では5.3%の増加となった。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>平成27年の深刻な品薄に比べると平成28年は品物があるのでその分好転していると言える。一時的なものであるが、繁忙である。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>天候不順により、年末商品の荷動きが鈍い。原油減産による燃料価格の変動が収益に影響しそうである。</p>	<p>各種商品卸売業</p>
<p>小売業</p>	<p>各店とも年末の売上増加を考え在庫を増やした。「インショップ」では、デベロッパー等が福引や現金還元セールを企画する模様だが、売上の増加とならなかった店もあるとの事。毎年この時期にメーカーの売上コンテストがあるが、仕入は増加、売上は悪化等で厳しい状況となっている。年明けにはメーカーの新商品が発売されるので仕入を増やすと、資金繰りが厳しくなる。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>シール会は平成29年9月末で解散の方向となった。組合としての最後の年末商戦として12月5～10日まで5倍ポイント実施したところ、解散の情報が行き渡り、皮肉なことに年末商戦は好調でポイント売上も伸びた。2月オープン予定の「ウォンツ」は、薬局だがいろいろな商品を売っているので地区</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>

	<p>の小売店が深刻な影響を受ける。地区の中小企業者の動向は、車関連協力工場は良好に推移、土木建築も愛宕山防衛関係の仕事で順調で平成29年度の岩国市内公共事業の総額に期待感を持っている。</p>	
	<p>歳末イベントは例年通りのにぎわいをみせたが、歳末大売出しは低調であった。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>
	<p>冬の山口デーとプレミアム商品券などが少しだが売上に繋がったと思われる。全体的には少し好転したように見えるが、その分、1月に反動が出ないか気になっている。例年より暖かな気候であるが、もっと寒くなれば売上に繋がるかもしれない。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>先月同様に、客数、売上とも前年を下回る売上状況下。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>冬物の季節需要が多少出てきた模様であるが、プレミアム商品券利用に伴う追加の消費はあまり見られなかった。野菜の価格高騰も影響し活発な消費とはなっていない。緩やかでも消費の持ち直しに期待しているが、円安や石油製品の値上げの動きもあり先行きが暗いので、地方の景気対策へのテコ入れが欲しい。</p>	<p>山口市</p>
	<p>歳末商戦を行っており売上は多少上向いている。この勢いで景気も上向けばよいと店主は思っている。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>月初の来店客が少ない感じがあったが中旬以降は増え、例年だとクリスマス前に来店客が衰えるパターンだが、朝から忙しく、慌ただしく仕事をしている。ちょっとした贅沢でパーマをかけたり等プラスの施術はあるが、店頭販売となると財布のひもは固い。しかしながら去年の年末商戦よりも景気は良く、利益も上がっているのではないかと思う。</p>	<p>美容業</p>
	<p>低料金店の増加等で消費者のニーズが変化し、依然として厳しい状況。</p>	<p>理容業</p>
	<p>山口県内の11月における登録自動車と軽自動車の継続検査台数が、対前年同月比で116.7パーセントと大きく伸びた。これは、リーマンショック、東日本大震災、エコカー減税などの過去の影響から抜け出した結果といえるかもしれない。車検を取り扱う整備工場にとっては、長く暗い日々が続いていたが、年末に向けようやく明かりが差して来たような気がする。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>人手不足が続いている。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>

	<p>宿泊人員及び売上高は100.7%と前年並みで推移した。昨年まで全国中学校駅伝が山口市で開催されていたが今年から滋賀県開催となったことが前年並みになった要因として考えられる。</p>	<p>旅館業 山口市</p>
	<p>前年と比べあまり変化は感じられない。九州ふっこう割の影響かもしれないが、多少、団体の予約が減っている模様。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
	<p>施設利用者（入浴者数）の減少が続いている。天候不順（雪）及び交通規制（日ロ会談）もあり客足悪化。健康産業としての温泉活用強化の必要性あり。情報発信を強化する。</p>	<p>旅館業 長門市</p>
	<p>28年は天候不順による野菜等食材の高騰が収益状況を悪化させ年末まで続いた。TPPも強引に国会を通過したがトランプの判断次第ではどうなるかまさに先行きのわからない状況になっている。飲食業の景況は悪くはならないが上向きもみられない状況が続いた。年末景気を謳歌した飲食店もあればじっと我慢の飲食店もあり、当に2極化の極みにあったとの報告があった。廃業の報告はなかったが年明けまで持ちこたえたか気になるところだ。ともかく12月は生業に没頭し収益状況の判断は年越しに判明する見込みで、総じて昨年並みの景況で申年が締めくくられたもようである。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>今月も天候が不順でなかなか客足が伸びない。年度末に天皇誕生日の三連休があり、行楽へ客足を取られたのではないかと感じている。最近では学生服の需要も減少傾向。毎年感じているが年末の雰囲気が無くなってきて、新年をきれいに迎えてようという客層が相当減っている。</p>	<p>普通洗濯業</p>
建設業	<p>10月の山口支部中電への工事申請は139件。太陽光発電への申請23件、オール電化申請32件、LED街路灯への切替・新設申請6件であった。</p>	<p>電気工事業</p>
	<p>年末でも忙しくない事業所が多くなっている。1年余り前より工事量が減少している。</p>	<p>左官業</p>
	<p>天候にも恵まれ、組合員は受注分の工事を順調に熟し、この状況は2月まで続くと思われる。相変わらず人員不足で人がいない分とても忙しいため、あらゆるところに募集をしているが、就業希望者が無く企業もあきらめムードである。ガソリンは少しずつ上がり、1ℓ@129円である。例年、年度変わりの3～6月には発注がないので、市に要望を続けていたところ、平成29年度は5月からの発注となる見込みである。</p>	<p>管工事業</p>

	<p>年末を控え本来なら追い込みをかけたいところであるが、天候不順で各店とも工事の遅れに気を使っている。年明けは例年仕事が落ち込む時期であり、仕事の確保が最優先課題である。</p>	屋根工事業
	<p>1 2月の内装工事業は、年度末までの工事が継続しており、来年2月までは好調ではないかと思われる。しかし大まかな工事は2月中にほぼ完成し、3月以降は少しずつ空きが出てくるのではないかと思われる。</p>	内装工事業
	<p>地区によって工事量等に差がある模様だが、年度末が近づき建設業者は忙しくなっている。人手不足の中、工事量が今まで少なかったので少ない人数で賄ってきたが、災害等の工事発注があった場合は人手不足で対応出来ない可能性がある。柳井地区の賃金は低いのでなかなか解消しないと思われる。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>1 2月の受注高は、対前年同月比86%。年度の累計は対前年比78%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>長距離輸送はドライバー不足で車両が不足したが、中近距離輸送は順調に推移している。前年同月比0.5%の売上減少。同一賃金等々、中小企業零細運送業にとっては厳しい条件ではあるが、これを遵守するには、大手企業荷主の理解が不可欠であるとの声が聞かれる。時短等は特にである。燃料費は1円の値上げ。価格変動が激しいので中小輸送業の経営を圧迫している。軽油引取税はなんとかならないものだろうか。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>今月も受注は前年並みに落ち着いた。自動車関連については依然として海外生産拠点への生産移転が膨らんでいる。来期もこの流れは続きそうであり見通しはあまり良くない。燃料費も上昇傾向。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>食品輸送はクリスマス・年末商戦による荷物の増加が見込まれ、その他季節物の輸送案件・保管案件が増加している。雇用人員は、減少こそしてないが慢性的な不足が続いている。ここ最近、軽油がかなり値上がりをしており、収益への影響が見え始めている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>前年に比べ売上が10%近く増えている。観光の増加とプーチン大統領来日のニュース取材等が要因と思われる。</p>	一般旅客自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+1.0%（平成28年11月1日～平成28年12月20日分）。11月1日～30日分は+2.3%、12月1日～20日分は▲0.6%。昨年が大幅減少（▲9.1%）だった事もあるが、少し回復傾向にあるようにも思える。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。11月分については、周南▲0.9%，下松▲2.7%，光+13.6%，防府市地区が+18.1%で、組合員の全域で+3.1%、地区外（員外）▲9.1%で合計+2.3%。防府競輪の記念レース関連、防府市市会議員選挙、鹿野診療所などで増加した。東洋鋼鈹や新日鉄、地元ホテルや地元準大手の病院の利用金額は減少した。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。ブタン，プロパンのCPが上がり（前月405\$/トンが今月430\$/トン）、為替が円安になったので、前月より+5%となった。前年12月分に比べると▲7%ですが、繁忙期で利用量が多い時なので少し厳しいところである。タクシー乗務員は慢性的に不足しており、高齢で退職する人員減少を採用で補いきれないため、稼働できない車両がある状況。今月20日まではほぼ前年並みの売上げだが、残り10日間で前年同月よりプラスとなるかどうか、年末の繁忙期だけに心配である。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>
	<p>相変わらず取扱高は増えず、むしろ少しずつ減少傾向にあり、年単位で見ると取扱高はかなりの減少となっている。特に昨年第4四半期から今年第1四半期までが低位継続的な取引状況であった。今年度残り四半期について今のところ特別な動きはない。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>安定した取引が続いている。</p>	<p>介護事業</p>